



## 「場の空気」を読む（KY活動）

中学教頭 小澤正豪

昨年十一月に行われた芸術鑑賞会では、「古典芸能」を楽しみ、そして大いに学ぶ機会がありました。国際舞台でも活躍する桂かい枝さんのお話いや落語には、私自身も舞台袖で笑いが止まらず声を押さえ選・決勝共に息ができないぐらいに笑い転げました。

アメリカ・ニューヨークで活躍するある日本人のコメディアンがいます。彼の舞台での人気の一幕に、自信たっぷりの賢明な男が観客から提示された単純な数字のたし算をわざと間違えて、慌てふためいてその場を取り繕う姿に観客の爆笑を誘う場面があります。現代ではAI技術が目覚ましい発展を日々続けており、複雑な計算や膨大なデータ処理も瞬時に行えるようになっています。きっとAIであれば瞬時に正解を答えてしまうので、何の面白さもないことでしょう。AIは言葉遊びとしての粋な洒落を生成することはできても、「笑い」にある話し手と聞き手の隙間や駆け引きや「場の空気」を読むことはどうもまだ苦手のようです。AIは膨大なデータを学習し、処理はできますが、「場の空気」を読むということは、その場にいる人々の期待や熱量を感じ取り、その場において即興で自分の振る舞いを調整するという極めて人間的な営みだと考えられるので、その点ではAIが人間に追いつくのは無理なのではないかとさえ感じます。秋の芸術鑑賞会でのかい枝さんを始めとする演者の皆さんとのライブ感（一体感）は決してAIの粋な回答からは味わえないものでしょう。

「場の空気」は、何も笑いの場面だけではなく、日々様々な言葉を発するときにもとても大切なことだと思います。つい言いたいことがあっても、その言葉が周囲や相手にどんな影響を与えるのかを考えて一度深呼吸してみることもその一つです。

AIとの共生の中、「場の空気」をしつかり読んで、二〇二六年もたくさんの笑いに包まれる温かい年にしたいと考えております。そして今年は六十年に一度の「丙午」の年です。昔から「丙午」生まれの女性は気が強いという言い伝えがありますが、今年こそがまさに女子校で学ぶ皆さんのそれぞれが自分らしく、より強く活躍し、ますます飛躍する年だと確信しております。



1月号  
(第441号)

武庫川女子大学  
附属中学校・高等学校  
総務部

全校朝礼全三回にわたり校長先生から、人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」についての話がありました。（要約して掲載します）

武庫川学院は「立学の精神」を教育の原点とし、「自ら考え、動く」

人の育成を社会的責務として掲げています。その責務を全うするため、本学院の人材育

成方針を、知識・姿勢・行動という視点から八つの資質・能力として定めたのがMUKOGAWA COMPASSです。

MUKOGAWA COMPASSを一言でまとめる、と、「自ら考え、動く」人を育成するというものです。

「知識」の一つ目は、「多様化・複雑化する社会を理解する力」です。生成AIの登場や技術革新、気候変動や人口問題など、これまでの常識が通用しない予測困難な時代を迎えていました。こうした社会を生き抜くためには、基礎的な知識に加え、物事の本質を見抜く力、課題を発見し解決する力、多様な人と関わるコミュニケーション能力、デジタル機器を使いこなす力が必要です。

二つ目は、「生きることにつながる専門性」です。生きる目的は自己実現と社会貢献であり、そのためには「他の人にない専門性」、つまり自分の強みを持つことが大切です。中高で培う基礎的な学力や将来構想力、向上心が土台となり、その上に大学や大学院での専門的な学びが積み重なっていきます。

三つ目は、「多様な人々と協働する力」です。性別や国籍、価値観などの違いを認め合い、力を合わせて取り組むことで、誰もが安心して暮らせる社会につながります。

MUKOGAWA COMPASSは、これら八つの資質・能力を通して、「自ら考え、動く」人へと成長するための指針です。日々の学校生活の中で、このコンパスを意識しながら、一歩ずつ前に進んでいくほしいと思います。



失敗は新しいことや難しいことに挑戦したときに起ります。失敗を恐れて挑戦しなければ、自分も社会も変えることはできません。勇気や向上心、開拓者精神をもって挑戦することが大切です。

三つ目は、「逆境や困難に対応するしなやかな姿勢」です。「柳に雪折れなし」という言葉のように、堅さよりもしなやかな強さを持つことで、逆境を乗り越えることができます。粘り強さや柔軟さ、冷静さ、周囲に助けを求める力が必要です。

### 行動

「行動」の一つ目は、「論理的に考え方を伝える力」です。筋道を立てて考え、自分の考え方を分かりやすく伝えることで、問題解決力が高まり、未知の課題にも対応できるようになります。

二つ目は、「新たな価値を創造する力」です。これまでになかつた価値を生み出す力が重要です。観察力や発想力、好奇心がその土台となります。

三つ目は、「多様な人々と協働する力」です。これまでになかつた価値を生み出す力が重要です。観察力や発想力、好奇心がその土台となります。

## 「立学の精神・MUKOGAWA COMPASS」

### 【立学の精神】

高い知性 善美な情操 高雅な徳性

### 【人材育成方針】

MUKOGAWA COMPASS「自ら考え、動く」

（知識）①多様化・複雑化する社会を理解する力 ②「生きることにつながる専門性

（姿勢）③自他を尊重する姿勢 ④失敗を恐れず挑戦する姿勢

（行動）⑤逆境や困難に対応するしなやかな姿勢 ⑥論理的に考え方を伝える力 ⑦新たな価値を創造する力 ⑧多様な人々と協働する力

（行動）⑨多様な人々と協働する力 ⑩新たな価値を創造する力



## 全国大会出場 バトンツワコング部

十二月六日（土）、第五十三回バトンツワコング全国大会が幕張メッセで行われ、中学生チームが出場しました。中学生は、十一年ぶり十五回目の出場で八名という少ない人数でしたが、銀賞を受賞しました。

本当に嬉しかったです。大会一週間前ぐらいからインフルエンザでメンバーが揃うか不安でしたが、当日は

ノードロップも多くなってきました。私が代表になつて出場決定を聞いた時は本当に嬉しかったです。私が迎えられてよかったです。私が代表になつて

本当に嬉しかったです。大会一週間前ぐらいからインフルエンザでメンバーが揃うか不安でしたが、皆

がついてくれてとても心強かったです。結果は銀賞でした。目標にしていた金賞、ノードロップ賞

は取れなかつたけど、全員が笑顔で踊りきることが出来て、今まで一番良い演技になつたと思いました。来年も絶対全国大会に出場して、今度こそ金賞

を勝ち取りたいです。

中学代表 藤岡 月渚



